



CHARTERED SEPT. 11. 1953

Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO YAMATE

YAMATE YMCA, 2-18-12, NISHIWASEDA, SHINJUKU-KU, TOKYO TEL. 03-3202-0321 FAX.03-3202-0329

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-18-12 山手YMCA内

2018 - 19 会長主題

地元とつながろう

あずさ部長	廣瀬 健 (甲府 21)	「未来はそれに備える人のものである」
東日本区理事	宮内友弥 (東京武蔵野多摩)	「為せば、成る」
アジア太平洋地域会長	田中博之 (東京多摩みなみ)	“ Action ”
国際会長	Moon Sang Bong (韓国)	“ Yes, we can change ” 「私たちは変えられる」

会長 浅羽俊一郎 / 副会長 尾内昌吉 / 書記 尾内昌吉 / 会計 中村孝誠
 直前会長 上妻英夫 / ブリテン 功能文夫 / 担当主事 星住秀一

2018年 8月例会

<CSの月>

と き **8月25日(土) 11:30-15:30**
 ところ **東京YMCA東陽町センター**
 地下鉄東西線「東陽町」駅下車
 徒歩6分

東京YMCA 夏まつり

主催：東京YMCA夏祭り実行委員会
 共催：在京ワイズメンズクラブ
 事務局：東京YMCA会員部

山手クラブとしての納涼例会は行わず、夏まつりに参加します。

ワイズメンズクラブ モットー

『 強い義務感をもとう
 義務はすべての権利に伴う 』

“ To acknowledge the duty
 that accompanies every right ”

今月の聖句

(イエスは)話し終わったとき、シモンに、「沖に漕ぎ出して網を降ろし、漁をきなさい」と言われた。シモンは、「先生、わたしたちは、夜通し苦労しましたが、何もとれませんでした。しかし、お言葉ですから、網を降ろしてみましよう」と答えた。そして、漁師たちがそのとおりにすると、おびたしい魚がかかり、網が破れそうになった。

ルカによる福音書 5章 4-6節

8月 HAPPY BIRTHDAY

会費の納入は、会計(中村君)への納入または下記銀行口座への振込みをお願いします。
 三菱UFJ銀行 高田馬場駅前支店
 普通 3548431 「東京山手ワイズメンズクラブ」

7月報告

会員在籍数		13名
例会出席者	メ ン	8名
	メ ネット	1名
会員出席率		62%
ゲスト・ビジター		2名
		合計 10名
ニコニコ	4,000円	(累計 4,000円)
B F 国内切手	-g	外国切手 -g



7月例会 報告

7月17日(火) 18:30~20:30

山手センター 101号室

出席者：上妻、浅羽、飯野、尾内、尾内(規)、
機能、中村、星住 8名

ゲスト：井口 真さん(東京YMCA高等学院
学院長)

福島多恵子さん(元東京目黒クラブ)
2名

合計10名

司会 中村さん

新年度第1回目の例会は、山手センターの中にある東京YMCA高等学院の働きについて、学院長の井口真さんから、「閉塞感の中を生きる人と共に生きる」と題して卓話をいただいた。

<卓話要旨>

今の高校生たちは、子どもに注がれる親や社会の目から、社会の息苦しさを感じている。

やたらに自己責任論が振り回される社会で親は子どもに成功してほしいと願い、そして少子高齢化で親は子どもに愛情過多になり、子供に「できる子」になってほしいと願う。みんなと同じようにできなくちゃという子どもの緊張、ストレスはとて高い。その中から、どうせ僕はダメなんだという「あきらめ」が生まれてくる。

子どもにとって大事なことは、自分が愛されて

いる、必要とされている感覚、あなたがいてくれてよかったという揺るぎない存在意義を持つことである。自分は自分であっていいと思えるように励ます。それが満たされないと、逃避か攻撃の行動として表れる。

今の世の中は子どもの評価が能力で測られる時代になっているが、能力中心主義で測っていくと、その人の居場所がなくなる。Doing(行為)ではなくBeing(存在価値)で人を見る。それを取り戻すのが居場所である。YMCA高等学院は居場所にもなっている。

愛には行動が伴う。喜んで相手の話に耳を傾けようとする。いっしょにいる、一緒にやろう、向き合う、寄り添う、暇そうにしていることで構えず話せる環境を作る、愛が伝わる行動を心がけている。

京都YMCAの総主事が、「普遍的な価値のあることをやれ」と言われた。それは、神を態度で語ることであって、一緒にいることは目の前の人の気持ちの傍を離れないことだと私は思う。平良修牧師は「神様が赦しているのは、共に生きることだけ」と言われた。聖書にも「共にいる」(マタイ1:23、28:20)とある。また、「その人を助けた人」(ルカ10:37)を本田神父は「痛みを分かち、行動に移した人」と訳している。

卓話の後、世界YMCA大会（チェンマイ）に参加した浅羽さんから、1300人が参加し、日本からは31人が参加したこと、若者たちが企画し、女性の声も反映した会であったことが報告された。

また、星住さんから西日本豪雨災害復興支援募金を7月18、19日16時～19時に高田馬場駅前で行うのでご協力をとのアピールがされた。

会計担当の中村さんから、17-18年度の東京山手クラブ決算報告書と新年度予算案が提出され承認された。（まとめ・功能）

.....

<7月例会 ニコニコ元気カードから>
私は今日このことで元気です。

福島多恵子さん 井口保男さん（祖父・広島Y総主事）、井口仁さん（伯父・日の本学園長）を懐かしく思い出しました。そして東京Yの総主事をされた井口延さんは真さんの父上、井口家の三代にわたるYMCA主事は珍しく、真さんの活躍を喜んでいます。卓話ありがとうございました。

.....

大阪茨木クラブの皆さまから

寄せ書きメッセージをいただきました。

東京山手ワイズメンズクラブ 皆様

平成30年7月12日
大阪茨木ワイズメンズクラブ
会長 清水真一

平成30年6月21日午前7時58分、大阪府北部を震源地とする大阪北部地震被災にあたり、お心遣いのお葉書頂戴し、誠にありがとうございます。

お蔭様で、当クラブ全員無事でした。しばらくガスが不自由だったことなどもありましたが、通常通り七月例会も開催出来ました。

7月例会での当クラブ会員の近況など報告させていただきます。今後ともよろしく願いいたします。

会長 清水真一 地震当日は、まだ自宅にいて出勤しようという時間でした。ネット等でどんどん被害が大きいのことが分かってきました。ワイズメン皆さんと連絡が取れた際は、ホットー安心でした。

直前会長 蒲田泰宏 東京山手クラブの皆様の葉書による寄せ書き頂きありがとうございます。当日は職場で地震に会いました。私の家族、そし

てクラブの皆様が無事であり本当によかったです。東京山手クラブの皆様におかれましては、これからますます暑い日が続いてまいります。お身体ご自愛下さいませ。

山手クラブOB 加藤寅尾 昔の仲間の皆さんからお見舞い、嬉しく拝見しました。山手の益々の発展を祈る。

藤井英世 お見舞いありがとうございます。幸い花瓶が割れた位で被害がなく助かりました。

山崎 憲 地震のお見舞いありがとうございます。当日朝は突然の揺れで驚きました。自宅では食器が落ちて割れる程度でしたが、仕事先（茨木神社）は塀が倒れ、鳥居や灯籠が倒れ、屋根瓦がズリ落ちて、雨で室内が水びたしになり、復旧に時間と大金が要する状況です。災害は忘れた頃にやってくると言いますが、本当でした。メンバー全身体は元気で頑張ります！！

岡村千蔭 ご心配頂きありがとうございます。我家はお陰様で無事でしたのでご安心下さい。貴クラブ皆様のご繁栄をお祈りします。

川端康彦 お見舞いありがとうございました。地震発生当時は大きな被害はないように感じましたが、数日後から屋根にブルーシートをかけた家が目立ち、やはり大きな地震だったと思います。

ブリテン担当 野田将弘 寄せ書き有難うございます。茨木は地域的に屋根やブロック、ガスがやられた所もあるそうですが、幸い私のところは奇跡的に無事でした。お気遣い本当にありがとうございました。

粕谷和彦 今地震に西日本豪雨で大変な思いをしましたが、何とか頑張っています。貴クラブの繁栄をお祈りします。

掛谷太郎 ご心配いただきありがとうございます。1週間、ガスが止まり、水シャワーで過ごしました。この地震により、災害に対する意識が更に高まりました。貴クラブの会員のご多幸をお祈り申し上げます。

連絡主事 浜野昌保 主の御名を賛美いたします。皆様のお祈りに感謝申し上げます。関西では地震に大雨と大変でしたが、神様と共に前へ進んでいきたいと思っております。今後ともよろしく願いいたします。

.....

ヨルダン会（7月）

7月ヨルダン会は休会にしました。



第1回あずさ部代々木の杜評議会

功能文夫

7月14日(土) 13:30から17:00に、代々木の国立オリンピック記念青少年総合センター4階の402号室で、2018-19年度第1回の評議会が開催された。ホストクラブは東京サンライズクラブ、出席者は65人、山手クラブから尾内、機能が出席した。

この日、東京の最高気温は35.4度(平年より6.5度高)の猛暑になったが、甲府は37.3度(平年より6.9度高)まで上がったそうだ。廣瀬 健あずさ部長(甲府21)は、甲府を出るときは暑かったが東京に着いたら涼しく感じた、と話された。

第1部開会式は廣瀬あずさ部長の開会点鐘で始まり、ホストクラブの大谷博愛会長から歓迎挨拶があった。

第2部評議会では、廣瀬部長は、最大の課題は会員増強で、すでに甲府地区では5名(会員21クラブで4名、甲府クラブで1名)の新入会があったことを報告、各クラブで1名ずつの入会をぜひお願いしたいと要請された。続いて議案審議に入り、2017-18年度部会計決算案と2018-2019年度部会計予算案の2議案が承認された。主査活動方針の説明の後、各クラブの活動方針の説明があった。山手クラブは浅羽会長の代理として尾内副会長が説明を行った。

「会員数が1名減の13名になった。EMCに努める。主題は「地元とつながろう」で、地元を大切にしていく。山手センターの耐震工事のため半年間は例会場所を他に移す。重点目標は①地元住民のニーズを捉えよう。②会友を増やそう③若者から学ぼう。

その他、YMCAの諸活動に協力する。宮内理事からは、会員増強と入会式の写真を送ってほしいという要請があった。

YMCAニュース

1. 西日本豪雨災害復興支援募金

東京YMCAでは、西日本豪雨災害復興支援のため7月18日(水)、19日(木)の2日間、高田馬場駅前で街頭募金を行いました。被災地の方々がこの暑さの中で過ごされていることを思い、山手コミュニティセンターのスタッフやワイズメン・ボランティアリーダー、また西早稲田の本部より管理職会後に駆け付けたスタッフも合わせ約45名が、大きな声で道行く人々に呼びかけました。学生の多い高田馬場駅前では留学生や学生が、「少しですが」と募金をして下さったり、ご高齢の方も暑い中、足をとめて協力くださいました。2日間、約5時間あまりの募金活動で、皆さまの尊いお気持ちと**187,762円**の募金をお預りしました。

東京YMCA全体では7月18日より22日までの間に、高田馬場、東陽町、豊洲、経堂、錦糸町、国立において街頭募金を行いました。寄せられた募金の合計は、**1,000,737円**、街頭募金に参加して下さった方々は6箇所延214名でした。

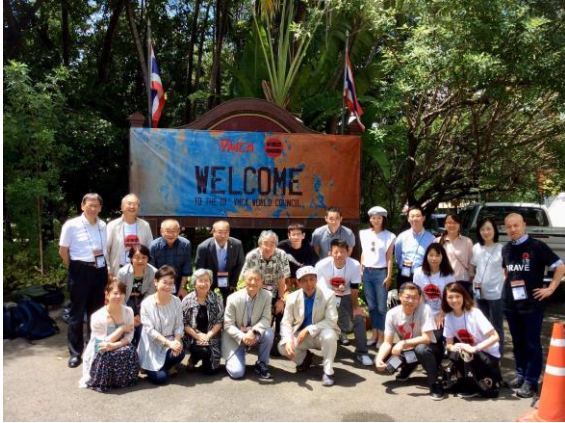
ワイズの皆さんをはじめ、YMCAの活動に参加する子どもたち、園児、卒園児、保護者、学生、会員、リーダー、スタッフとその家族などなど、酷暑の中で熱い呼びかけを行って頂いた成果を心からの感謝をもって報告します。

現地の広島YMCA、せとうちYMCAでは「こどものケア」を中心に検討がされ、情報が整い次第、同盟または各YMCAから発信される予定です。『夏の思い出を災害だけで終わらせない』を合言葉に取り組んでいるそうです。

募金は全国YMCAで10/31まで継続されます。東京YMCAでも引き続き街頭募金、窓口募金、WEB募金、企業募金、その他様々な行事や活動をととしての募金を継続していきます。引き続き皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

2. 8,9月の予定

- 8月 3日、21日、28日 山手会館引越し作業
- 8月 15日 山手学舎舎生引越し
- 8月 20日 山手会館地下エリア工事終了予定
- 9月 2日 しんじゅく防災フェスタ
- 9月 15日 国際協力募金 新宿駅周辺
- 9月 23日 チャリティーラン (星住秀一)



チェンマイ世界大会を終えて

浅羽俊一郎

世界YMCA 同盟が4年に一度開催する世界大会。19回目に当たる今年はタイ3番目を誇る北部の大都会チェンマイに世界各地から 1300 名が参集した。会期は7月8日から14日まで。前回大会は米国コロラド州のエステスパーク YMCA が会場で、広い敷地をあちこちと歩かされたが、今回は賑やかな都会の中の大国際会議場が会場。色とりどりのTシャツに身を包んだ国籍も世代も異なる一大集団が7日間分団協議、レク活動、エクスカージョン、食事と、会場内を行き来する。全体会合のたびに大ホールが埋まると壮観だった。

そもそもこの大会は何のためだったのか。ここ2、30年沈滞化する一方だった世界YMCA運動を今一度揺り起こそう、若者に戻ってもらおうと決まったのが12年前のダーバン大会。その中心概念がユース・エンパワメントだ。4年後の香港大会で新しい方向を模索しようと *New Way* の方針が定まり、若者を変革の担い手チェンジ・エージェントとして育成し送り出すことになった。前回のエステスパーク大会でこの方針は具体化し *Our Way* として採択された。チェンジ・エージェントの育成も続けられ今や700名の若者が各地でYを拠点に活動を担いつつある。新方針の導入は国によってばらつきがある。その意味で今大会は、世界Yを8年間牽引し、年末で退任となるヨハン・エルトヴィック総主事の、総括ではなく、方針継続への布石となる大会であったと言えよう。なお、世界運動として特記すべきは今大会で新たにモンゴル、カメルーン、グアテマラの3ヵ国が世界同盟に加盟した。

大会のプログラムは割愛させてもらい、個人的体験を以下3点記すことにしたい。

一つ目。この7月が結婚40周年なので夫婦で参加したが、目的の一つはUNHCR時代に家族ぐるみで交際していた同僚のD氏と夫人が退職後、チェンマイ郊外に落ち着いたのを数年ぶりに夫婦で再会するためだった。大会前の数日間楽しく過ごせた。中学生だった子供たちも今では皆30代後半。大会閉会翌日、結婚記念のささやかな夕食会を開いた。西村久美子メネット(隆夫氏は出張中)、D氏夫妻、前日知り合ったチェンマイY副総主事パノムワン女史と私たちの6人。驚いたことにバンコクYから大会に参加したタウィチャイ氏(ワイズの今期東南アジア区理事)が私たち皆の共通の友ということが分かった。

二つ目はキャンプソング・ナイト(以下CSナイト)の顛末。各国のCSで交流しようというこの企画に世界同盟の許可がおりたのが6月下旬。ポスター、チラシ、歌集を即席で作って持ち込み、最小限の打ち合わせで12日夜の本番に備えた。なのに次期役員選挙がまさかの1時間半も延長。マーフィの呪いか。でも日本チームはよく頑張った。同情してくれたタイY同盟のラチャン総主事が、ご自身が楽しみにしていた最終日のカラオケ・ナイトでCSを数曲歌うことを提案してくださった。数か国のユースが参加してくれた。そして何よりも日本チームが積極的に協力してくれた。感謝あるのみ。参加者が全般的に少なかったが宣伝不足か、先約があったのか、CSに無関心なのか。チャンスがあれば再度挑戦したい。(写真は日本チームの面々。西日本区の大野理事、同盟の笈川会長の姿が見える。)



三つ目。今回の同盟役員選挙でユース・女性が常務委員に大勢当選した。それにはユース・女性候補を優先するという方針があったが、ユース・エンパワメントを实践する世界同盟の本気度がよく分かった。ヨハンに代わる総主事はトーゴ出身のカルロス・サンヴィー氏。会長は初の女性会長、カナダのパトリシア・ペルトン氏。新役員が壇上に出揃うと若者と女性の多いのに爽やかな驚きを感じた。同盟ではこれからは新しい風が吹くであろう。日本から当選を果たした岡戸良子さん(横浜Y)の言葉が印象に残る。「男性だけの会議は一般的に弾まない。それが女性数人入ると彼らは発言するし、そこから男性たちの議論も活発になる。」耳が痛い。

4年後の世界大会には今の倍の若者に参加してもらいたい。やはり若者がぶつかり合い、励まし合うYMCAでないと。(日本からの参加者39名。トップの写真は部分集合)

以上

.....

おたより(7月)

<上妻英夫さん>「文月や歩道の青柿引あげる」今年は見事に柿が生った。歩道に垂れ下がってきたのです。

<金本伸二郎さん> 当日、家内の診察日につき、欠席します。新しい年度、新会長のもと、少しはお役に立てればと思っています。

.....

